

AVAHETM

2012



はじめに

公益財団法人水戸市国際交流協会
理 事 長 幡 谷 祐 一

森久美子先生を団長とする平成 24 年度の水戸市学生親善大使が、7 月 27 日から 8 月 5 日までの日程でアナハイム市にホームステイしました。水戸市の代表としてアメリカの文化と歴史を学び、相互理解と友好親善の目的を果たして、無事帰水いたしました。

歴史、文化、言葉の壁を超えて得たアナハイムでの友情、体験、思い出は、これからの人生を豊かなものにすることでしょう。互いに認め合うことができる国際人として羽ばたくためのステップになると、確信しております。

学生親善大使たちはアナハイムで経験した喜び、驚き、そして感謝の気持ちを伝えたいとこの報告書を制作しました。

最後に、このプログラムに携わった関係者並びに学生親善大使を受け入れて下さいましたアナハイム市姉妹都市委員会の皆様に、心から感謝申し上げます。

We are very happy to report that all Mito Student Ambassadors, headed by Ms. Mori returned to Mito safely. They stayed with families of Anaheim from July 27 to August 5. They studied American culture and history and deepened their understanding and friendship of both cities.

The friendships and experiences will enrich their lives by helping them overcome the differences of history, culture and language. I am convinced that knowing each other will play an important role in becoming more internationally oriented individuals.

The student ambassadors have sent us a report filled with their sentiment of joy and gratitude.

In closing, I would like to express my gratitude to all of the people concerned in this program, both of the City of Mito and Anaheim. Also many thanks to the members of Anaheim Sister City Commission for hosting our students. Thank you very much.

President of Mito City International Association
Yuichi Hataya

目次 Contents

1 はじめに Introduction

2 平成24年度学生親善大使名簿
List of student ambassadors

3 日程 Schedule

4 ホストファミリー紹介 Host Family

5 報告書 Report

6 感謝の言葉 A Word of Thanks

7 資料 Data

平成24年度水戸市学生親善大使

氏名		性別	学校	学年	ホストファミリー
菊池 莉緒	Rio Kikuchi	女	赤塚中学校	2	Lorri & Mike Galloway
鈴木 瑠夏	Runa Suzuki	女	茨城大学附属中学校	2	Larry & Helen Velasquez
東 裕子	Hiroko Higashi	女	千波中学校	3	Lorri & Mike Galloway
平野 瑞葉	Mizuha Hirano	女	茨城大学附属中学校	3	Barbara & Edgar Gonzalez
片岡 宏	Hiroshi Kataoka	男	水戸第一高等学校	1	Mitch & Sherry Caldwell
黒木 理沙	Risa Kuroki	女	茨城高等学校	1	Helen & Lonny Myers
深谷 奈津子	Natsuko Fukaya	女	水戸第二高等学校	1	Anthony & Maria Perez
猪瀬 悠	Yu Inose	女	水戸第二高等学校	2	Dennis & Patricia Ashby
金 永珠	Young-Ju Kim	女	水戸啓明高等学校	2	Dennis & Patricia Ashby
西野 亮太	Ryota Nishino	男	水戸第一高等学校	2	Dinah & Larry Torgerson

（団長）

森 久美子	Kumiko Mori	女	緑岡中学校教諭	Ken & Kyoko Smith
-------	-------------	---	---------	-------------------

（事務局）

川上 亜希子	Akiko Kawakami	女	(公財)水戸市国際交流協会係長	Marne Ryan
保科 美幸	Miyuki Hoshina	女	(公財)水戸市国際交流協会職員	Marne Ryan

スケジュール schedule

JULY 27	JULY 28	JULY 29
アナハイム到着 Arrival in Anaheim ★ホストファミリーと対面 Meet Host Families 	★ホストファミリーデー The day with Host Families ★Welcome Party!! 	★野球観戦 Angel Baseball Game 
JULY 30	JULY 31	AUGUST 1
★サンキスト小学校訪問 Tour of Sunkist Elementary School ★消防署 Tour of Fire Department ★ボーリング大会 Bowling	★アナハイム市長と面会 Meet Anaheim City Mayor ★ビーチ 海水浴&Bonfire Day at the Beach	★市役所訪問 Tour of City Hall ★ミュージアム訪問 MUZEO ★ネイチャーウォーク &ゴルフ Nature Center and Golf Course
AUGUST 2	AUGUST 3	AUGUST 4・5
★ディズニーランド Disneyland	★さよならパーティ Sayonara Dinner 	無事日本へ Departure for Japan 



第1日目 7月27日(金)

(1日の行動)

14:00 集合
14:30 出発式
15:00 出発
17:00 成田空港到着
19:40 成田空港出発

— 日付変更線 —

13:30 ロサンゼルス空港到着
15:30 昼食 (サンドウィッチ)
18:00 DTCC (ダウンタウンコミュニティセンター) 到着
各ホストファミリーと帰宅



(1日の様子)

いよいよ出発のとき！

大きな荷物を抱えた 10 名の親善大使が出発式を終えてバスに乗り、成田空港に向かいました。バスの中ではにぎやかで楽しそうでした。

私は初めて外国に行くので楽しみにしていました。飛行機に乗り、機内食を食べ、飛行機の席についているテレビで映画を見たり、音楽を聴いたりなどリラックスモードで 10 時間という長い時間を過ごしました。

空港に到着後、サンドウィッチ店へ向かいサンドウィッチを食べました。やはりアメリカの食べ物の量はとても多かったので食べきれませんでした。大きなサンドウィッチを食べて満腹になった私たちは、DTCC へ向かい、ホストファミリーと対面しました。ホストファミリーの皆さんはとても優しく歓迎してくれたので嬉しかったです。

夕飯はピザがでてきてこれがまた大きくてびっくりしました。食事しながら、ホストファミリーの方が、いろんな話をしてくれて不安がほぐれていきました。初めての海外滞在で不安だったけれど、日本との文化の違いが新鮮な 1 日を迎えることができました。

【Hiroko】



第2日目 7月28日(土)

(1日の行動)

- 8:00 ホストファミリーと過ごす
- 17:00 ウェルカムパーティー
- 19:00 帰宅



(1日の様子)

朝食後、ホストファミリーの **Lorri** と公園へドライブ ♪に行きました。

そのあと支援募金団体の方と写真撮影、日本のお土産を配りました。みなさん、とても喜んでくださいました。

お昼には、**Lorri** の仕事仲間の **Kim** と **RUBY'S** (ハンバーガーショップ) で合流、昼食にハンバーガー&ポテトを食べました。ポテトの量が結構多かったです。

RUBY'S で **Lorri** と別れて **Kim** と shopping ♪に行きました。

ウェルカムパーティーでは、みんな積極的に話していました。また、森先生のホストファミリーの **Ken** さんと楽しく折り紙を折りました☆ **Ken** さんは折り紙がとても上手でした！！

とても素晴らしいアナハイムの方々との交流の場でした。

【Rio】



第3日目 7月29日(日)

(1日の行動)

- 8:30 DTCC 集合
- 10:30 Angel Stadium ツアー
- 11:30 昼食(ホットドッグ、ナチョス)
- 12:30 メジャーリーグ観戦 (Angels VS Rays)
- 17:00 帰宅

(1日の様子)

アナハイム市3日目、ようやくアナハイムでの生活にも慣れ始めた今日は、人生初のメジャーリーグ観戦。メジャーリーグ観戦は日本にいた頃からとても楽しみにしていたイベントの一つです。朝 DTCC に集合すると、試合の中で歌う“Take Me Out to the Ball Game”を練習しました。そしていよいよメジャーリーグ観戦に出発。スタジアムは日本の球場をはるかに凌駕する素晴らしい規模のスタジアムで、一同スタジアム見学中、終始興奮がやみませんでした。

さて、Angel Stadiumでの昼食は、メジャーリーグ観戦と言えばホットドッグとナチョスだそうで、いずれも超特大サイズでとてもおいしかったです。

昼食を済ませると向かったのは Suite Room。年間 800 万円かかるというその部屋はとても広く、快適で唖然とする規模でした。そのような素晴らしい環境の中でのメジャーリーグ観戦は、一生できない素晴らしい経験となりました。試合内容も非常にエキサイティング。ファールボールが飛んできそうな迫力満点の試合でした。また練習していた“Take Me Out to the Ball Game”も大成功でした。残念ながら Angels は敗れてしまいましたが、大変充実した一日となりました。



【Ryota】

第4日目 7月30日(月)

(1日の行動)

- 8:30 DTCC 集合
- 9:45 サンキスト小学校
(Sunkist Elementary School) を
訪問
- 10:30 消防署視察
- 13:00 ルビーズで昼食
- 14:45 ボーリング
- 17:30 帰宅



(1日の様子)

今日はまず DTCC に集合した後、サンキスト小学校へ見学に行きました。到着しての第一印象はとにかく広い。建物も全部平屋で芝生の校庭はそれこそまさにアメリカンサイズでした。それから授業見学をしたのですが、見学した内の半分以上の授業で PC やパワーポイントを使った授業が行われていたことにはとても驚きました。授業見学の後は中休みに入った学校の子供たちと一緒に遊びました。

その後は消防署の視察に行きました。巨漢でスキンヘッドの“ザ・アメリカン”な消防士さんの説明を聞きながら、消防士さんの生活スペースや消防車を見て回り、車庫にいたときにはなんと消防服を着させていただき、消防車にも乗せてくれるというなんとも貴重な体験をさせていただきました。

それからルビーズでハンバーガーを食べた後、ボーリングに行きました。なんだかんだ皆上手でスペアやストライクをバンバン出していました。とっても楽しい2ゲームでしたが僕にとっては・・・

4日目の今日も内容のぎっしりと詰まった良い1日となりました。



【Hiroshi】

第5日目 7月31日(火)

(1日の行動)

- 8:30 DTCC 集合
- 10:30 アナハイム市長と面会
- 12:30 昼食
- 14:00 ハニントンビーチ到着
- 18:00 夕食
- 19:15 ボンファイヤー
- 21:45 DTCC 到着
- ホストファミリーと帰宅



(1日の様子)

アナハイム市長に会うということで、この日は朝からドキドキしていました。

まず、朝研修で市長にする質問を考えました。私は聞きたいことがたくさんありましたが、うまく文章にまとめられなかったので1番気になっていた「この仕事は好きですか。」という質問をすることにしました。

そしていよいよ市長と対面の時間がやってきました。市長はとても温厚な人で、私たちの質問にも笑顔で丁寧に答えてくれました。私の質問には迷いもせず、はっきりと「Yes!」と答えてくれました。大変な市長の仕事もはっきりと好きといえる市長は本当にアナハイムのことを大切に思っているのだな、と思いました。

市長と面会をした後、私たちはビーチへ行きました。アメリカで見た海は同じ太平洋でも違って見えました。まず海に入ろうということで、水を触ったらその冷たいこと！ほとんどの人が入るのを断念してしまいましたが、私を含め何人かは思い出づくりに入ることになりました。1度入るとあまり冷たく感じなくなったので、少し泳いだ後、サーフィンをすることにしました。サーフィンは初めてで最初は怖かったのですが、始めてみるととてもスリリングで楽しかったです。私たちがサーフィンをしている間、ほかの人はビーチバレーやフリスビーをして楽しんでいました。夕食は手作りハンバーガーを食べました。お店とはまた違った美味しさで、私は2回もおかわりをしてしまいました。

日が沈み、暗くなったらボンファイヤーをしました。火をつけるのは大変でしたが、みんなで協力してやったらすぐにつきました。ついた後はマシュマロを焼いて食べました。みんなでボンファイヤーを囲んで食べたマシュマロの味は、いつまでも忘れません。

【Natsuko】



第6日目 8月1日(水)

(1日の行動)

- 8:30 DTCC 集合
- 9:00 アメリカの高校生活の DVD 鑑賞
MUZEO (博物館) 見学
市議会議場の見学
- 12:30 UMAMI BURGER にて昼食
- 14:00 Nature Center にてハイキング
- 15:30 Anaheim Hills ゴルフコースにてゴルフ
- 17:00 ホストファミリーと帰宅



(1日の様子)

今朝は、昨日のビーチの疲れからか、みんな少し眠たそうでした。しかし、研修が始まるとすぐに、楽しそうに昨日のことを英語で発表し合いました。

ジェシカとローレン（アナハイムの高校生）がアメリカの高校生活の DVD を見せてくれました。アメリカの高校は、日本以上にダンスパーティなどの行事が盛大で楽しそうでした。また、スポーツのユニフォームも格好良く、本格的でプロのようでした。ハリウッド映画のような高校生活にみんな憧れを隠しきれませんでした。

アナハイム市には市長と市議会議員が合わせて6人しかいないと知り、とても驚きました。市議会議場の見学では、一人ひとり市長や議員の席に座って写真を撮りました。

昼食のハンバーガーはとても美味しくてお腹いっぱい食べ、幸せでした。今日はDVD鑑賞、CLASS、MUZEO、市議会議場見学、ハイキング&ゴルフという盛だくさんで充実した1日でした。

【Young Ju】



第7日目 8月2日(木)

(1日の行動)

7:00 DTCC 集合
8:00 ディズニーランド
23:00 帰宅



(1日の様子)

今日は待ちに待った **Disneyland** の日です。まずは最初に、**New** アトラクションの **Cars** に全員で乗りました。東京でもなかなか乗れない人気のアトラクションだと聞き、みんな大興奮でした。

その後は自由行動となり、中学生4人＋高校生2人と **Host Family** の **Lauren** と **Jessica** でアトラクションをまわりました。休む間もなく次々とアトラクションを制覇し、なんと全部で18のアトラクションをまわりました。まわったアトラクションの中で一番印象的だったのが **California Adventure** にある **California Screamin'** です。すごいスピードで進むので、とても気持ちが良く、絶叫系があまり得意でない私も本当に楽しめました。

夜のショーも、なんと私たちのために席が用意してあり、ゆっくりと楽しめました。水のショーではいろいろなキャラクターが登場し会場を盛り上げてくれて感動しました。本当に夢のような1日でした。

【Runa】



第8日目 8月3日(金)

(1日の行動)

- 9:00 DTCC に集合・研修
A bit of Japan の練習
- 12:00 ホストファミリーと買い物へ
- 16:30 帰宅
- 18:00 さよならパーティー
- 20:00 ホストファミリーと帰宅



(1日の様子)

今日はいよいよさよならパーティーの日。Anaheim での最後のビッグイベントです。

9:00 からはパーティー会場に飾る『アメリカの歴史』についてのポスターを完成させ、A bit of Japan の練習をしました。

午後はホストファミリーとゆっくり過ごせる最後の時間でした。私は家族や友人へのお土産を買うために、ショッピングセンターに連れて行ってもらいました。日本にはないお店が並んでいて、ホストファミリーを連れ回してしまっただけで申し訳なかったです。

さよならパーティーの A bit of Japan では東日本大震災についてのスライドショー・体験発表、『上を向いて歩こう (SUKIYAKI)』の合唱、AKB48 の『会いたかった』のダンスを発表しました。

東日本大震災が起こった際、たくさんの励ましの手紙と祈りを捧げてくださった Anaheim のみなさんに心からの感謝を伝えることが出来たと思います。また、『上を向いて歩こう (SUKIYAKI)』と一緒に歌ってくれたり、『会いたかった』と一緒に踊ってくれたり……。会場が一体となって盛り上がっていました。

Anaheim で過ごす最後の夜は少し寂しさもあったけれど、決して一生忘れることのない素敵で特別な夜でした。



【Mizuha】

第9・10日目 8月4日(土)・5日(日)

(1日の行動)

- 10:30 DTCC 集合
- 11:00 DTCC 発
- 12:00 ロサンゼルス国際空港着
- 15:45 ロサンゼルス国際空港発
- 日付変更線 —
- 17:30 成田空港着
- 20:30 水戸市国際交流センター着、解散



(1日の様子)

当たり前のように毎日 DTCC に行っていましたが、それも今日で最後。『お別れの日』という雰囲気は全く無く、いつも通りという感じがしました。

しかし、別れの時間が近づくにつれてみんなの表情が暗くなっていったのを鮮明に覚えています。中には涙を流している人もいました。

私たちはホストファミリーと再会することを約束し、DTCC を出発しました。

ロサンゼルス国際空港に向かうバスの中で、あるホストファミリーの方からおにぎりを頂きました。思わずの事で日本を思い出し、帰国に前向きな気持ちになりました。

空港では暫しの自由行動の後、出国。誰もがいつか必ず…との思いを強くしたことを思います。

国際交流センターに着いたのは夜の9時。皆疲れ切った顔をしていましたが、最後は笑顔でそれぞれの家族のもとへ帰って行きました。

【Yu and Risa】



The Host Families



Thank you for taking good care of us.
We had a very good time with you.
Let's keep in touch!

My best host family



Thanks to you, we had a good time in Anaheim. My host family was very kind to us. Thank you very much. We are looking forward to seeing you again!

WE LOVE YOU!!!!!!

★Mike, Lorri, Bera, Hiroko and Rio★

☆My host family☆



(Runa, Helen, Avelina, Chalene, Larry)

Thank you for everything ! I'll never forget you.

I'm looking forward to meeting you again !

I love you all ♡ ♡ ♡

My Host Family

Barbara, Edgar and Maya !!!!!



I had a really good time with you♡
I will never forget this precious experiences.
I am looking forward to seeing you again.

Mitch&Sherry&Aggie



Aggie, Sherry,
Hiroshi, Mitch

Thank you for everything!
The days I spent with you are my precious treasure.
I hope I'll be able to meet you again soon.

I love my host family



Thank you for being gentle to me!! It was very happy ten days. I'll never forget meeting you!!!!

The Myers family!!



My host family !!

Natsuko Fukaya

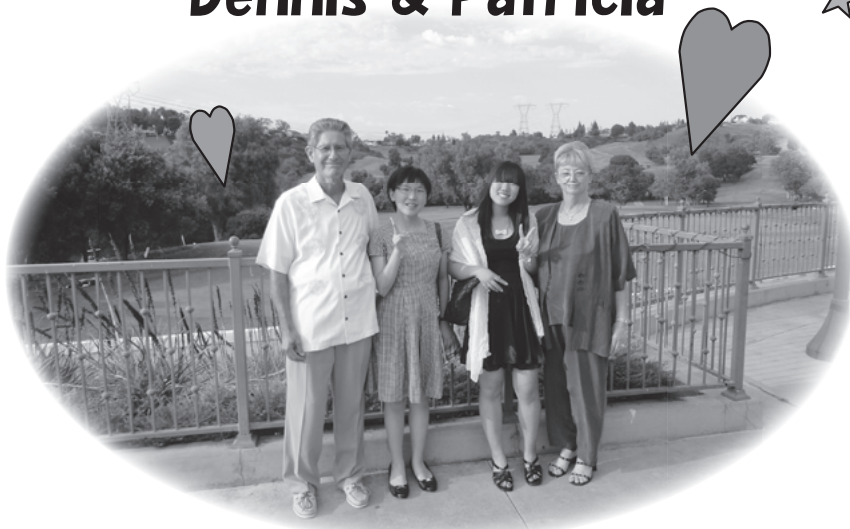


Father Anthony
Mother Maria

Brother Anthony
Sister Lauren and Jessica

★ Our ★ Host ★ Family ★

Dennis & Patricia



**We had a very nice time.
Thank you!**

Larry & Dinah



Dinah, Larry and Ryota

Thank you for accepting me!!
Thank you for accepting me!!
I'll never forget

They are my first host family!

I really miss kikki and you.
I am full of many memories and pure happiness now.



★ *This is Kyoko. Her smile made me happy and relaxing at home.*



☆ *Ken is my host father who is the most famous ORIGAMI artist in Anaheim.*
I wish your happiness from Japan. Thank you for everything.

★*Kumiko*★



a chance to come to Japan. We'll be glad to have you in Mito.

Dear Marne,

Thank you very much for
everything you've done for
us. We had a great time
although we could spend
only a few days together.
Please let us know if you get

Best regards,
Akiko and Miyuki

Anaheim Report



*We experienced a lot in Anaheim!
Thank you for your kindness!!*

We'd like to write what we learned
We'd like to write what we learned

♡大好き アナハイム♡ — I Love ANAHEIM —

菊池 莉緒
Rio KIKUCHI

私が、この 10 日間のホームステイで調べたことは「アメリカと日本の生活の違い」についてです。まず、私が驚いたことは、洗濯を毎日しないということです。3 日に一度しかしないのです。私は、なぜ毎日洗濯をしないのだろうと思いました。そういえば、アメリカ人は水を大切にしているということを思い出しました。確かに毎日洗濯するのと 3 日に一度では、3 日に一度のほうが節水できるなと思いました。

次に不思議だなと思ったことは、アメリカのどの家庭にもポストはあるのになぜか新聞をポストに入れず、駐車場の地面に置かれているということです。地面に置かれているからなのか、晴れの日であっても新聞は袋の中に入っていました。

また、やっぱりアメリカだなと思ったことは、ハンバーガーでメニューにはキッズサイズと書いてはあるけど、実際の大きさは日本でいうチーズバーガーぐらいの大きさは軽くあったことです。私は、あまり食べないほうなのでそういう点では少し大変でした。やはり、姉妹都市とはいえ文化には大きな違いがありました。

私は、外国に行きたいと思っていましたが、より外国で活動してみたいと思いました。再び、アナハイムに行きたいです！！

I found out about the differences between life in the United States and Japan.

First I was surprised that they do not wash clothes every day. They only do once every three days. I wondered why they would not wash every day.

I was reminded of the fact that water is important to Americans. I thought I would be able to save water too, if I washed only once every three days for sure.

Second, it was strange not to post the newspapers to any home mail boxes in the United States; instead they have them placed on the ground of the driveway. Newspapers are covered with plastic bags and placed on the ground even if it is sunny.

Third, I was surprised by the size of hamburgers for kids in American. Although, the menu says the hamburgers are for kids, they are as big as regular cheese burgers in Japan. I don't eat much in my life so it was not easy to eat the whole hamburger. We call Anaheim our sister city, but there are many differences between Mito and Anaheim. I want to go to Anaheim again!!

アナハイムでの経験を通して感じたこと

— What I felt from this experience —

鈴木 瑠夏

Runa SUZUKI

私はアナハイムで過ごした 10 日間、たくさんの場所に行き、たくさんのことを話し、たくさんのことを見て、触れて、感じてきました。この貴重な体験の中で、私は多くの大切なものを得ることができました。

私がアナハイムに行って感じたことは、大きく分けて 2 つあります。

まず 1 つ目は、アナハイムの人の心の広さです。アメリカ人というと、なんだか短気そう…というイメージがありましたが、実際全然そのようなことはなく、本当に優しい人ばかりでした。その中でも特に、ホストファミリーは本当に親切にしてくれました。私が英語でうまく話せなくても、一生懸命にくみ取ってくれて、本当に助かりました。また、アナハイムの人たちは、近所の人とあいさつをかわしたり、仲良くしゃべったり、みんなの仲が良かったです。

2 つ目は、日本とアナハイムの食文化の違いです。やはり、量がとても多かったです。ポテトは、私の手のひらより大きい箱に入っていて、チョコレートは、ピンポン玉サイズ！それだけでもとても驚いたのに、食べ方にも驚きました。ある日の朝ご飯は、ワッフルだったのですが、そのまま食べるのかと思っていたら、なんと、ホストファミリーの Avelina が、1 つ 1 つの穴にブルーベリーをのせ、はちみつをたらし、そのうえから生クリームをのせていました。これがアメリカ流か！と、自分も真似してやってみると、ちょっとこってりしていたけれど、意外とイケました。改めて、日本とアメリカの食文化の違いを感じました。

アナハイムでの 10 日間、私は本当にたくさんのことを学びました。この 10 日間ですでに得たことを、今後の人生に生かしていきたいです。

I had very good time in Anaheim. Anaheim is a very nice city and my host family is very kind. I learned a lot of things from this experience and I could know good points of Anaheim.

I have two favorite memories during this stay. I went to Hollywood on second day. We took a lot of pictures and saw Hollywood sign. I was very excited!

And I played with my host family's dog, Spam and Bouncy every day. Spam is a very clever dog, so I could play with her soon. At first, Bouncy barked at me. But the end, Bouncy took to me! She didn't bark! I love Spam and Bouncy. I will never forget that I spent special time with my host family.

I want to visit Anaheim and meet my host family again. So I must study English more. Please wait for me.

Thank you for everything. I love Anaheim!!

海外経験を通して学んだ事

— What I learned from this experience —

東 裕子

Hiroko HIGASHI

初めての海外での滞在は少し不安だったけど、日本にはない景色や文化がとても新鮮でした。

特に驚いたのは、アメリカンサイズの食べ物。半分も食べてないのにお腹が満腹になるほどでした。気温は日本よりも湿気がないため、思ったよりも快適に過ごせました。お風呂も日本のような湯船につかるようなタイプではなく、お風呂とトイレが一緒になっているユニットバスだったので、ユニットバスの使い方に少し苦戦していました。

そんな海外経験を通して私が学んだことは、何でも **Try** することです。アメリカと日本はもちろん言葉も違います。伝わらなかったときは、ああ。どうしよう…と少しあせりましたが、ホストファミリーが **ipad** を使って日本語に通訳してくれたり、辞書を使って身振り手振りで表現してなんとか伝わりました。ホストファミリーの皆さんは片言な英語でもしっかり聞いてくれて優しかったです。日常生活や会話では比較級、受け身のような中学校で習った表現でも十分使えました。普段の授業はこんなところでも活躍できるのだなと思いました。

もしできないことだとしても何でも挑戦することが大事だと感じました。挑戦することは、自分にとってプラスになり、次へ次へとつながることだと思います。それはこの時だけではなく、これからの自分に必要なことです。そして、将来海外関係の仕事に就きたい！というような夢や、そのためにはもっと英語を勉強して英語がうまくなりたい！という気持ちが強く芽生えてきました。

振り返ってみると、希望と吸収した知識がつまった、楽しくて充実した 10 日間を過ごすことができました。大人になってもこの思い出を忘れません。関係者の皆様ありがとうございました。

Dear Lorri&Mike

I had a very good time with you in Anaheim. Thanks to you, I was able to enjoy myself and learn about American history and culture.

I was so absorbed in talking about various topics with you that I forgot how fast time could pass. I was so thankful for your kindness and making good meals for us.

Anaheim is a beautiful and nice place. It became a lasting memory for me.

I'll never forget those ten days. Thank you.

アメリカ人の寛容な心 — American tolerant mind —

平野 瑞葉
Mizuha HIRANO

アナハイムへ行き、ホームステイをした 10 日間で私が感じたこと。それは、出会う人全員が寛容な心を持っているということです。ホストファミリーをはじめ、私たちのホームステイに関わってくださった全ての方々、見ず知らずのお店の店員さんまでもが私たちを心優しく受け入れてくれました。自分たちと異なる文化に対してとても寛大で、積極的に関わっていかうとしている姿勢を感じました。

アメリカには、様々な人種、宗教、価値観を持った人々がいて、それらの人々が共生して生きているのだと思います。例えば、アナハイムにはリトルアラビアという地域があります。私がホストファミリーに連れて行ってもらったときはちょうどドラマダンの期間中だったので、食事のないパーティーを楽しんでいる光景を目にしました。私はこの時、「アメリカって本当に多民族国家なのだなあ。」と感じたと同時に、「アメリカ人が寛容なのは、このように様々な宗教や価値観を持った人々がお互いを認め合って共生しているからなのだろう。」と感じました。今回のホームステイを経験して、私も、彼らのように自分とは異なる文化を認め受け入れることができ、また、広い視野で物事を考えられる人になりたいと強く思うようになりました。

最後になりましたが、私が言葉では言い尽くせないほどの素晴らしい経験が出来たのは、国際交流協会の皆様、アナハイム市の協会の皆様、たくさんの思い出を分かち合った 9 人の仲間たち、笑顔で送り出してくれた家族、そしてなによりも私を「家族」にしてくれたホストファミリーのおかげです。本当にありがとうございました。

Through the special 10days, I realized that all American I met have the tolerant mind.

I felt that they take a positive attitude toward different cultures. I think there are many races, religions and sense of values in America and they live in symbiosis one another, so they have tolerant mind. I really hope to be a person like them that can accept different cultures and have a broad view of things.

Dear Barbara & Edgar: I could truly enjoy the days in Anaheim with you. Thank you very much for all your kindness. Before I met you I was worried about all the things in the foreign country. But you greeted me warmly, so I didn't feel lonely and uneasiness. Making a meal with you, going for a walk with Maya, watching the London Olympics on TV... Any little things with you are my precious memories. I'll certainly return to Anaheim. I'm looking forward to seeing you again.

アメリカでの人との付き合い方

— The way to associate with others in America —

片岡 宏

Hiroshi KATAOKA

以前から自分の中ではアメリカ人はフランクで社交的というイメージがありましたが、今回のプログラムでそれは正しかったと分かりました。ホストファミリーの Mitch と Sherry も初めからたくさん話しかけてくれて、それは初めてのホームステイで少し緊張していた僕の心を解きほぐしてくれました。初日だけでも十分そのイメージが確信となったのですが、その後の日々の中で、もっともっとそれが分かっていきました。2日目に僕はハリウッドに行ったのですが、朝食を食べたレストランのウェイターやおみやげ屋さんの店主とも二人は談笑していました。日本ではあり得ないな、と心の中で思いつつ僕も少しお話ししました。そんな社交的で楽しい人々との毎日でしたが、一番すごかったのは買い物の会計の時です。レジの人が、調子はどう？と聞いてきたときは少し驚きました。それですごいのは最初のそれだけでは終わらず弾丸のように次から次へと質問が飛んで来て、それこそ談笑があり得ないというのなら、これは日本では絶対に起こらないことだと思いました。でも話しているとだんだん面白くなって、こういうスタイルもいいな、と思うようになりました。

日本とは違った人との付き合い方、この10日間でそれを学ぶことができました。

そして今回出会った人々すべて社交的で楽しく、優しくてそれがこのプログラムが最高の思い出になった理由の一つだと確信しています。

Dear Mitch, Sherry and Everyone I met

It already has past many many many days. The 8 days I was in Anaheim is my treasure. But now, I sometimes think it was a long sweet dream. It was too far from my daily life. It was too interesting time. I remember the moment when I first met you. Mitch waved hand to me in front of the DTCC. Now I feel it was long time ago.

I really appreciate you. The precious memories are bright in my mind. I never forget this experience. And I remember that the things I learned in Anaheim forever. Thank you very much for Mitch, Sherry and everyone. But my appreciation is too big. I cannot tell you everything. So I will come back to Anaheim someday near future. And when you come to Japan, I hope I can meet you.

Lastly I want to say thank you for everyone again. Mitch, Sherry- you are my greatest American family. I am looking forward to seeing you again.

Love from Japan

Hiroshi

新たな発見 — NEW DISCOVERY —

黒木 理沙
Risa KUROKI

私は、この 10 日間の研修で日本とアメリカで大きく異なる点をいくつか見つけました。

1 つ目は天候です。**Anaheim** は一日中暑くて汗ダクになると思っていました。しかし、乾燥した気候でとっても過ごしやすく汗はほとんどかきませんでした。とても意外だったことは朝、夜が非常に寒いことです。ドアや窓を全て閉めて、布団をかけてちょうどいいくらいでした。

2 つ目は服装です。ロサンゼルス空港に到着し、周囲を見渡すとほとんどの人がノースリーブに半ズボンという、日本ではあまり見られない格好でした。日本人はたとえ暑さの厳しい日でもこのような格好をする人は少ないです。ほとんどの人が周囲の目を気にしているのでしょうか。しかし、アメリカは着たい服を着たいときに着るという印象を強く持ちました。とても合理的であり、かつ自由なアメリカらしい一面だと思います。

3 つ目は食事です。とにかく **big**…。勿論、一人で食べきれる量ではありません。ハンバーガーやホットドッグを頼めば自動的に山盛りポテトが付いてきますしレストランでパスタを頼むと日本とほぼ同じ値段で 1.5 倍くらいの量が出てきました。最初は食べきれず残してばかりでしたが量の多さにも少しずつ慣れたことを覚えています。

今、振り返っても本当に充実した 10 日間でした。英語が伝わったときの嬉しさを味わったと同時に自分の英語力の無さも痛感しました。今度 **Anaheim** に行くときまでには会話力を磨いておきたいです。

I was taken care of at the time of stay in Anaheim.

Thanks to you, I was able to spend very happy ten days!!

When I met you for the first time, I was tense very much.

This is because I did not know what I should talk about.

However, the host family contacted with me kindly. I was really glad.

Having gone for a circus together, having eaten ice cream and having had shopping...

It is the really best memory!!

I will not forget this best memory!! And, please get along well now on.

I look forward to a day to see you again.

By the next time we meet I want to improve my conversation skill.

Please come to Mito, Japan

I love Helen family!

アメリカに行く前といった後の印象の違い

— Differences before and after going to America —

深谷 奈津子

Natsuko FUKAYA

大雑把で常に笑顔、自国とヒーローが大好きな、何でも **Big** な超大国！というのがアメリカに行く前のアメリカの印象でした。しかし、行った後、私のアメリカの印象は変わりました。

アメリカ人は大雑把かと思っていたら、私のホストファミリーは常にきびきびと行動していました。しかし洗濯物を全てまとめて乾燥機で乾かすあたりはやはり大雑把だなあ、と思いました。

ホストシスターは大体の時は笑顔でした。いつも元気いっぱい、日本の女子高生と全然違います。日本では、何をしてもつまらなさそうにしている女子高校生が多いような印象を受けます。それに比べてアメリカ人の女の子はいつも楽しそうで、見ていられるこっちも楽しくさせてくれます。もっとも眠いときや、疲れていたときは、笑顔ではありませんでしたが。それは日本人と変わりませんでした。日本人もアメリカ人を見習って、楽しいときは楽しいと、表情などで表現すべきだと思います。

アメリカでは至るところでアメリカ国旗を見かけました。歴史にもあるように、アメリカは国民が一丸となって国を発展させてきました。そのこともあるのか、アメリカ人は日本人よりも愛国心が強いような印象を受けました。とてもすばらしい民族性だな、と感動するとともに日本もこれからこういう国にしていきたいという強い気持ちが私の中で生まれました。

私のホストファミリーの9歳の男の子はヒーローの出てくるドラマやアニメを見ることが大好きでした。私がホストマザーの手伝いでできないことがあって困っているときはいつも9歳の男の子が助けてくれ、アメリカ人の男の子は正義感が強いなと思いました。それもヒーローが好きなことが関連してくるのでしょうか。小さい子に人間として大切なことを教えてもらいました。16歳にもなって正義感を持つことができていなかったと思うと少し恥ずかしくなりました。

アメリカは何もかもが **Big** でした。ジュース、お菓子、スーパーマーケットすべてが日本の2、3倍の大きさがありました。ホストマザーの話では、アメリカ人は週に1回まとめて買い物をするんだそう。だからサイズが大きいのかな、と思いました。日本とのサイズの差は考え方の違いから生まれるのかな、と思いました。

今回アメリカに行ったことによって、本当のアメリカを知ることができました。このことで学んだり、感じたりしたことは私にとって大きな財産となりました。アナハイム行くことができて良かったです。

Dear My Host Family,

Thank you very much for everything you have done for me, you cooked traditional American meals for me, took care of me and took me to many places. I was very happy. The most interesting thing that I have experienced was to go to many places such as Beverly Hills, Hollywood and Santa Monica. Swimming in the pool was also very interesting. Please come to Japan and visit me someday. I will take you to many Japanese famous places. I definitely will go back to Anaheim. I look forward to seeing you again. Thank you again and I love you!!

Love Natsuko

コミュニケーションについて — About Communication —

猪瀬 悠

Yu INOSE

思い出、というものは色褪せ易く、いつまでも心に残っているものは少ないと思います。ですが、このアナハイムでの 10 日間は私にとっても一緒に時間を過ごした 9 人にとっても鮮明に濃くいつまでも残ることと思います。

ホームステイに多大な不安を持っていた私は、とにかく英語力が無く、ホストファミリーと会話ができるのか、呆れられないか、と全く自信が持てずにいました。とりあえず身振り手振りですればいいだろう、そんな浅はかな考えを持っていたことは否めません。実際、会話をしてみると微妙なニュアンスが伝わらないことが多々あり、その度に歯がゆい思いをしました。しかし、私の英語が伝わらないので、私が四苦八苦していると相手は親身になって私の拙い英語から単語を拾い理解してくれました。

アナハイムでは、ネイティブスピーカーと私との間で、お互いの意志を伝えあうためには、いつも前向きな気持ちでいることと、精一杯伝えようとすることが大事だということを学びました。

アナハイムの人々はとても親切で、気さくでした。子ども達も活発で積極的に授業に参加していました。時間の限り質問の声はやまなかったのには、日本人との違いが顕著に表れていたと思います。自由で寛大なアナハイムの人々の優しさに、私は何度も助けられました。私が、英語を上手く話すことができないと伝えると、ホストマザーは私を抱きしめ、「心配しないで。」と言ってくれたことで不安は一瞬にして消えました。

親善大使になれたこと、この貴重な十日間を過ごせたことは私の一生の宝物です。携わってくださった全ての方々、ホストファミリーに心から感謝します。

It became great recollections also for all the members attended this program.

I was very worried about the home stay before. I was afraid that I can't talk well with my host family.

I thought I could communicate with them using gesture. But it was not enough.

In spite of my poor English, they tried to understand me.

They listened to me. Patiently and talked slowly I tried not to give up talking. If I didn't think up words, I tried to say them in other words and used pictures and gestures.

I have found that being positive in conversation is the most important. We should never give up communicating with people.

Thank you so much all of you.

自分から興味を持って — Having an active interest —

金 永珠
Young Ju KIM

私がアナハイムで一番強く感じたこと。それは、勇気を持って一步踏み出すことで素晴らしい未来が開けるということです。アナハイムの人々は何を行うにもとても積極的でパワフルでした。私は、彼らを見習わなくては！と思いました。積極的に楽しい心持でいると、遠慮や恥ずかしさのあまり消極的になっているよりもずっと多くのことを経験し、吸収できるということがよくわかりました。もちろん、思い通りにいかなかったり、英語で一生懸命コミュニケーションを取ろうとしたけれども上手に伝わらなかったときは落ち込むこともありましたが、そんな時、ホストファミリーがいつも「文化の違いや言葉の壁はお互いを尊重し合うことで乗り越えられるから全く問題ないのだよ」と笑顔で話してくれたことはとても嬉しかったし、励みとなりました。

今回のアナハイムでの 10 日間の経験はこれからの人生に大きな意味をもつと確信しています。今回お世話になった全てのみなさんに感謝します。ありがとうございました。

Dear Dennis and Patricia,

Thank you very much for your hospitality. It was my first visit to America so everything was new to me, but I had a very nice time in Anaheim. It was a beautiful city and had a very friendly atmosphere.

Thank you for taking me to a lot of interesting places. I like DANA POINT, which is a beautiful harbor. I love the cute hat you gave to me and Yu.

Thank you for taking me to the nice restaurants, too. The pizza and spaghetti were amazing. It was good that I got to share a meal like a family because I could enjoy many kinds of dishes.

The food in America was very delicious. Above all, I loved Patricia's omlets and Dennis' hamburger steaks. It was the most precious time for me when I had meals with Dennis, Patricia and Yu. I also really enjoyed conversation with you.

Thank you for showing me some pictures which you took during your stay in Japan. I was happy to share your good memories.

Thank you for a lot of wonderful presents. They are our memories. I'll treasure them.

I love you and respect you. My parents also thank both of you from the bottom of their heart for your kindness.

I hope I get to visit you again in a few years and I will study English harder. Finally, I wish you all good health and happiness. Let's keep in touch.

Young Ju

日米間の食生活の違い

— The differences between Japanese food and American food —

西野 亮太

Ryota NISHINO

特大のハンバーガーに大量のフライドポテト…

これが私の中でのアメリカの食生活のイメージでした。さて実際はというと…私の中でのイメージに近いものではありませんでしたが正確には、私のイメージをはるかに上回るものでした。日本のハンバーガーの二倍はありそうなハンバーガーに 3, 4 人で取り分けてちょうどいい程の 1 人前のパスタ、10 人以上はまかなえそうなピザなどをひたすら食べるのです。

しかしながら私がアナハイム滞在中に食べた食事はいずれもとても美味しいものばかりでした。また食事の種類においてはさすが多民族国家アメリカと感心させられました。イタリア料理に、寿司レストランに日本ではあまりなじみのないメキシコ料理まであちらこちらに点在しており、その多様性には思わず驚かされました。

さてそんなアメリカと日本の類似点は、どちらも食事中、食事後の会話を大変大事にしているということでした。ホストファミリーとの食事やホームパーティー、そのいずれにおいても会話を非常に大切にしていることがわかりました。この点は日本にも共通するものがあり、アメリカ人の大変友好的な姿勢、性格の神髄は食事に影響していると感じました。

実際私はホストファミリーにちらし寿司を作って一緒に食べましたが、その中で日本のことなどについてコミュニケーションを取ることができました。

やはり食事に国境は無く、食事は人と人との関係を深める素晴らしいひと時であると実感しました。

Dear Larry & Dinah

I had never experienced a Home Stay. That is why, I was very nervous. However thanks to your great kindness, my stay in Anaheim turned out so great and I experienced a lot. Though two weeks had passed since I left to Anaheim, I remember my visit exactly. When I look back my stay, I always think that my stay in Anaheim is full of surprise and impression for me. Everything was new for me. I guess my English ability was so low that you couldn't understand what I want to tell perfectly. That is why, I decided to study English more. And if I have a good opportunity to visit Anaheim again, of course I would like to visit you again.

Lastly I'd like to say "Thank you for everything" with my love.

Thanks again 10 days. See you again.

感謝の言葉

平成24年度水戸市学生親善大使
公益財団法人水戸市国際交流協会

私たち 13 人にとってアナハイムで過ごした 10 日間は一生忘れられないかけがえのない宝物となりました。アナハイムでの日々はすべてが新鮮で、そして楽しいものでした。その分別れるときはとても悲しかったです。それでも最後はきれいにお別れすることができたのは、また会えることを信じているからです。

この 10 日間で私たちは大きく成長することができました。アナハイムでの経験は私たちの将来にきっと良い影響を与えてくれると思います。そしていつか立派な人間になれた時に今回の伝えきれなかった残りの感謝の気持ちを伝えに、またアナハイムを訪れたいと思います。そのときまで、どうか私たちのことを覚えていてください。

最後にこのプログラムに携わってくださった全ての方々、そしてホストファミリーを引き受けてくださった皆様にお礼を申し上げるとともに、ますますのご健康とご多幸をお祈りいたします。

The 10days we spent in Anaheim became our precious forever treasure. Each day was new and everything was interesting for us. So we were very sad when we had to say good-bye. But in the end we could say good-bye with smile because we believe that we can see you again.

We grew up very much during this 10 days. We think that the experience in Anaheim give the good influence to our future. And when we become a good man/woman, we hope to come to Anaheim again to tell our remaining appreciation that we could not tell you while we were in Anaheim. Until that day, please remember us.

Lastly, we thank the people who were involved in this program, and the people who became our hostfamily. We wish your good health and happiness.

A BIT OF JAPAN

8月3日の夜、ホストファミリーの方々とさよならパーティをした時の様子です。
“A bit of Japan” では、アナハイムでお世話になった方々に、10日間の感謝をこめて、日本のことを紹介しました。



東日本大震災のプレゼンテーションをしました。プレゼンテーションでは、震災直後の水戸の様子を写真や体験談を交えて発表しました。

We made a presentation about the Japan earthquake. In the presentation, we explained what we experienced soon after the earthquake by showing some pictures.

「上を向いて歩こう」の合唱をしました。現地の人々も一緒に歌って下さいました。

We sang a song called “sukiyaki”. Our host families tried to sing together.



「会いたかった」を全員で踊りました。途中でホストファミリー達も一緒に踊って下さいました。

We danced together. Our host families joined us and danced together.

“A bit of Japan” はとても盛り上がり、私たちはアナハイムでの最後の良い思い出を作ることが出来ました。

It was so exciting, and we had a very nice time with you. Thank you.

食べ物のカロリー in Anaheim

～アメリカの食事はカロリーが高いとイメージしていたので、アナハイムでの食事のある一日を例にとってカロリーを調べてみました～

ある 1 日の食事の例

朝	シリアル	446kcal
	オレンジジュース	120kcal
	果物（オレンジ、ブルーベリー）	75kcal



計 641kcal

昼	チーズハンバーガー	670kcal
	ポテト	571kcal
	シェイク	620kcal



計 1,861kcal

夜	ステーキ	1,127kcal
	餃子 1つ	62kcal
	チキンソテー	517kcal
	サラダなどバイキング各種	



計 1,706kcal

合計 4,208kcal

ちなみに、日本人の 20 代の平均 約 2,250kcal

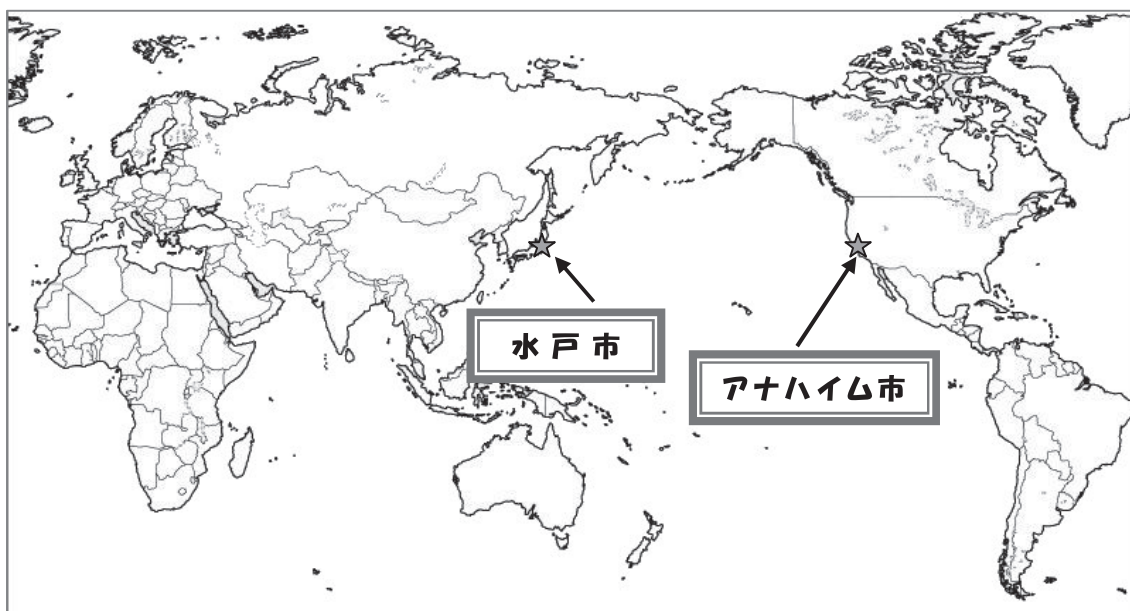
アメリカの食事は、予想通りカロリーも高くボリューム満点でしたが、とても美味しく 10 日間ですっかり慣れてしまいました！

WE ARE VERY GLAD TO MEET YOU



資料編

～Data～



水戸市学生親善大使は、水戸市とアナハイム市の姉妹都市交流での青少年交流の一つとして、昭和63年から始まりました。

アナハイム市姉妹都市委員会の皆様のご協力のもと、水戸市の学生はホームステイをしながら研修を受け、相互理解と友好親善を深めています。

平成24年度水戸市学生親善大使 募集要項

1 目的

市内の学生を水戸市の国際親善姉妹都市であるアナハイム市へ派遣し、海外でのホームステイを通して国際的な視野に立つ人材を育成するとともに、両市の相互理解と友好親善を深めます。

2 主催

公益財団法人水戸市国際交流協会、水戸市、水戸市教育委員会

3 事業概要

- (1) 派遣期間 平成24年7月27日(金)～8月5日(日) (10日間)
- (2) 派遣先 アメリカ合衆国 カリフォルニア州 アナハイム市
市民ボランティア(※)宅にホームステイ
(※ホストファミリーの経験が豊富であり、アナハイム市姉妹都市委員会が認める者)
- (3) 派遣人数 10名(この他、親善大使を引率する団長・事務局職員が同行する。)
- (4) 親善大使としての活動内容
 - ① アナハイム市での活動
 - ア アメリカ合衆国及びアナハイム市の歴史や文化等の研修
 - イ 英語研修
 - ウ 関係機関、施設等の訪問・見学
 - エ 水戸市の紹介
 - オ ホームステイを通しての市民間交流
 - カ 姉妹都市交流の推進、市役所表敬訪問
 - キ その他
 - ② 事前活動
アナハイム市での活動を効果的に行うため、事前研修を行います。
 - ③ 事後活動
アナハイム市での活動内容を報告書にまとめるとともに、今後、公益財団法人水戸市国際交流協会及び水戸市の実施する国際交流推進事業に積極的に参加していただきます。

4 募集人数

10名 (中学生 4名 高校生 6名) ※応募の状況によっては変更する場合があります。

5 応募資格

下記のすべての資格・条件を満たさない場合、申込みは受け付けません。

応募に際して英検等の資格は必要ありません。

- (1) 平成24年4月1日現在、満13歳以上17歳まで(平成6年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方) であること
- (2) 中学校、高等学校、高等専門学校、その他の教育施設に在学中であること
- (3) 本人又は本人と生計を一にする家族が水戸市内に住んでいること(平成24年5月1日現在)
- (4) 協調性に富み、事業計画に従って規律ある団体行動及び生活ができること
- (5) 派遣前後に行われる研修等に参加し、派遣後も公益財団法人水戸市国際交流協会及び水戸市の国際交流推進事業に積極的に参加できる者
- (6) 過去に水戸市学生親善大使としてアナハイム市を訪問していないこと
- (7) 小学校に入学してから現在までの間に継続して1か月以上の海外滞在歴がないこと

6 応募方法

- (1) 提出書類 ※①及び③は、応募者の自筆とする。
 - ① 参加申込書(様式第1号) 1通
 - ② 80円切手を貼った返信用封筒 1通(本人のあて先を記入したもの。)
 - ③ 作文 【題名】「水戸市学生親善大使となって何を学びたいか」
【規格】 A4規定用紙を使用、横書800字以内
はじめに学校名、学年、氏名を必ず記入すること

- (2) 提出期間 平成24年4月25日(水)～5月18日(金)
- (3) 提出先 公益財団法人水戸市国際交流協会
〒310-0024 水戸市備前町6-59 TEL 029-221-1800
水戸市国際交流センター内
(開館時間 午前9時～午後9時。月曜日、4月29日・5月1日、3日、4日は休館)
- (4) 提出方法 持参又は郵送すること。(郵送の場合は当日消印有効)

7 選考及び決定

選考は、当協会の選考要項に基づき、選考委員会が行います。

- (1) 第1次選考 書類審査
選考の結果については、5月29日(火)までに本人の現住所へ送付します。
- (2) 第2次選考 面接(簡単な英会話を含む)、集団討論
ア 期日 平成24年6月3日(日)
イ 時間 未定(第1次選考の合格者に郵送で通知)
ウ 場所 水戸市国際交流センター
選考の結果については、6月10日(日)までに本人の現住所へ送付します。

8 スケジュール

7月 1日(日) 午後1時30分～5時	事前研修 (水戸市・アナハイム市の概要及び英会話等)
7月 8日(日) 午後1時30分～5時	
7月15日(日) 午後1時～5時	
7月27日(金)～8月5日(日)	アナハイム市へ派遣(ホームステイ)
8月19日(日) 午後	事後研修
9月～11月	報告書作成

※ 場所：水戸市国際交流センター(アナハイム市派遣を除く)

9 費用

この事業に要する費用のうち、次に掲げる費用は、参加者の個人負担とします。

- (1) 水戸市～アナハイム市間の交通費等：約200,000円(内5万円を協会より補助する)
- (2) 自由行動時の個人的な費用
- (3) 個人的な保険料
- (4) その他疾病又は傷害の治療費用

10 親善大使の取消し

- (1) 親善大使として決定された後であっても、不適格と認められる行為又は事実があった場合には、資格を取消すことがあります。
- (2) 出発後の取消しは、団長が行います。この場合、親善大使を直ちに帰国させるものとし、帰国に要する費用は、本人の負担とします。

11 旅行の取消し

申し込み後、事業への参加を取りやめたときは、旅行約款に基づく取消し料を負担していただきます。

12 個人情報の取扱い

応募書類に含まれる個人情報については、当協会の個人情報保護規程に基づき厳重に管理し、親善大使選考及び選考に付随する業務のために利用します。

問合せ 公益財団法人水戸市国際交流協会

〒310-0024 水戸市備前町6-59

TEL：029-221-1800 FAX：029-221-5793

E-mail：mcia@mito.ne.jp URL：http://www.mitoic.or.jp

※本親善派遣事業については、渡航者の安全確保を最優先させますので、今後の国際情勢によっては、応募後であっても中止する場合があります。ご承知おください。

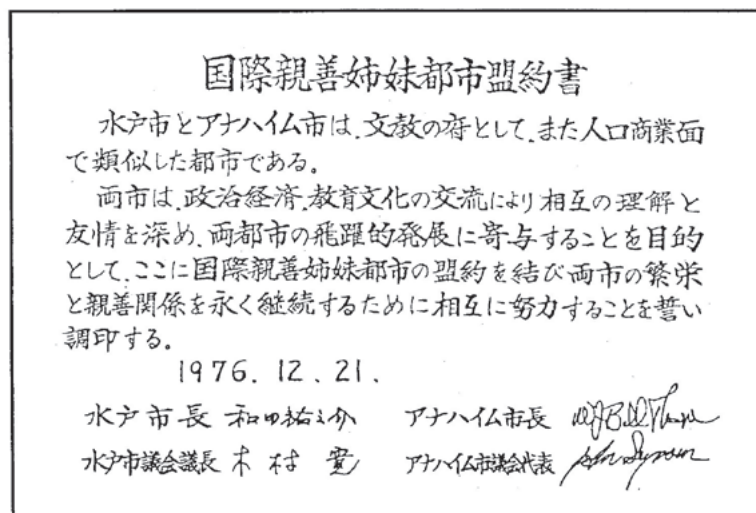
水戸市とアナハイム市の交流

水戸市とアナハイム市との交流は、昭和 49 年（1974）、アナハイム市在住の水戸出身の実業家が、恩師をアナハイム市に招待したことを契機として始まりました。その後の様々な人的交流が実を結び、アメリカ合衆国建国 200 年祭に当たる昭和 51 年（1976）12 月 21 日、両市は国際親善姉妹都市を締結しました。

姉妹都市となった両市は、幾多の交流活動を重ね今日に至っています。

水戸市使節団のアナハイム市への派遣は、昭和 51 年（1976）の妹都市調印式使節団派遣を第 1 回として、これまで 29 回行われ、延べ 866 人がアナハイム市を訪問しています。また、アナハイム市使節団の来水は昭和 51 年（1976）を第 1 回として、これまで 15 回あり、延べ 415 人が水戸市を訪問しました。

また、学生レベルの交流では、水戸市学生親善大使のアナハイム市への派遣が、昭和 63 年（1988）の第 1 回以来、今回の派遣を含め 22 回実施され、合計 433 人がアナハイム市を訪問しています。またアナハイム市学生親善大使の来水の受入は、昭和 60 年（1985）を第 1 回として、これまで 26 回行われ、合計 94 人が水戸市を訪問しています。



— 両市のプロフィール —

	水戸市	アナハイム市
人口	269, 597 人 (2012 年 8 月 1 日現在)	341, 034 人 (2011 年現在)
面積	217. 45 km ²	130. 7 km ²
標高	最高 160. 0m 最低 0. 1m	最高 52m (170 フィート) 最低 37m (120 フィート)
緯度	北緯 36 度 21 分 57 秒	北緯 33 度 50 分 10 秒
経度	東経 140 度 28 分 17 秒	西経 117 度 53 分 23 秒
気候	平均気温：摂氏 13℃ 年間降水量：1, 326mm 温暖湿潤気候	平均気温：摂氏 21℃ 年間降水量：249 mm 地中海性気候
市の花	ハギ (Bush Clover)	キンセンカ (Calendula)
市の木	ウメ (Plum)	マグノリア (Magnolia)
市制施行	1889 年 (明治 22 年)	1857 年

新聞等掲載記事

・茨城新聞 平成 24 年 7 月 30 日



出発式で高橋靖市長と握手する学生親善大使＝水戸市備前町の市国際交流センター

「異文化触れ、国際人に」戸

米アナハイムへ 学生大使が出発 水

水戸市が国際親善姉妹都市の米国アナハイム市に派遣する「学生親善大使」の出発式が、久美子団長と中学生4

27日、同市備前町の市国際交流センターで開かれ、緑岡中教諭の森

一行は8月5日の帰国まで、現地でホームステイをしながら、英会話や米国の歴史、文化などを研修する予定。

出発式で、高橋靖市長は「(米国の)日々の暮らしや異文化に触れ、世界に羽ばたく国際人たる水戸人になってほしい」と激励。須田浩和市議会副議長は「遊べば必ず何かを学ぶ」と体験を楽しむことをアドバイスした。親善大使たちは市関係者らに見送られながら出発した。

中高生の派遣は1988年に始まり、今年は22回目。これまで389人が派遣されてい

編集後記

夏休みも明け、編集委員が全員で集まるのはとても大変でしたが、報告書の作成を通してアナハインの思い出を再認識することが出来ました。

アナハインでの貴重な 10 日間の体験を通して、多くのことを学ぶことが出来ました。

最後に、この研修を支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。

In September, it was very hard to get together and make this report, but through this writing we could recognize our memories in Anaheim again.

Through our precious experiences in Anaheim, we were able to learn a lot of things.

Finally, we are very thankful for everyone who supported this program.

編集委員：深谷奈津子，片岡宏，黒木理沙，猪瀬悠，金永珠，西野亮太



ANAHEIM 2012

第22回水戸市学生親善大使の活動記録

発行 公益財団法人水戸市国際交流協会